第64期

2023年度
(2023年7月1日～2024年6月30日)

環境経営レポート

発行日　2024年8月1日

ビルの総合管理を通じて社会に貢献します

ありがとうがいっぱいの総合ビル管理
ひろしま管財株式会社

https://www.hr-kanzai.co.jp

目 次

はじめに～ＳＤＧsに取り組もう、ＳＤＧsへの取組紹介	3
1. 会社概要	6
2. 事業の特色～ひろしま管財のこだわり	7
3. 対象範囲、役割・責任・権限	10
4. 環境経営方針	11
5. 環境経営目標(3ヶ年)	12
6. 環境経営計画(2023年度)	13
7. 環境経営目標の取組実績	14
8. 環境経営目標の各実績検証と次年度への課題	15
9. 環境保全活動、地域貢献活動などの紹介	18
10. 環境関連法規等の遵守状況	20
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	21

はじめに

「SDGs(持続可能な開発目標)に取り組もう

代表取締役　川妻利絵

国連は２０３０年までにSDGｓ（持続可能な開発目標）を世界全体で取り組むよう勧めています。最近ではテレビや店舗でも見かけることが多くなりましたが、自然、人、環境、働き方等々あらゆるものが継続的に課題解決することを目指しています。そこには１７個の項目がありそれぞれ取り組めるものを各企業、各個人で取り組みます。最近では子供たちも学校でＳＤＧｓを学ぶ授業もあるそうです。子供たちにとって将来を考えたとき不安要素もまだまだありますが、新型コロナや地球温暖化の甚大な被害など、いち早く対応している企業こそが生き残れる時代が来ているといっても過言ではありません。

目標5　ジェンダーの平等を達成しすべての女性と女児のエンパワーメントを図る

目標6　すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する

目標7　手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

目標10　国内および国家間の不平等を是正する

目標11　都市を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする

目標16　公正、平和かつ包摂的な社会を推進する

目標17　持続可能な開発に向けてグローバル・パートナーシップを活性化する

当社ではこの7つが現状取り組んでいることに近いと思います。現在弊社は男性・女性の公平な活躍、高齢者も若者（学生）も働いている環境、障がいを持たれている人も元気に仕事をしてくれています。またインドネシアからの技能実習生はもちろんの事、フィリピン・ブラジル・ケニアといった国の人も現場で働いてくれています。大きなことを目指さなくても身近な小さなことを一人一人が取り組んでいくことが地球を守ることにつながるのだと思います。ビルメンテナンス業界としても今ＳＤＧｓに取り組みよう動き出しています。他人ごとではなく自分事として取り組んでいきましょう。

○SDGsとは

・SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」のかしら文字を取ってエス・ディー・ジーズと呼ばれています。

・SDGsは2015年9月に国連本部で193の加盟国の全会一致で採択された『2030年まで気候変動や格差などの課題を解決を目指す』17の目標(ゴール)のことです。

○SDGsの17の目標

○SDGsの活用によって広がる可能性(なぜ、取り組むのか)

社会の課題への対応

SDGsには社会が抱えている様々な問題が網羅されていて、今の社会が必要としていることが詰まっています。これらの課題への対応は**経営リスクの回避**とともに**社会貢献や地域での信頼獲得**にも繋がります。

企業イメージの向上

SDGsへの取組をアピールすることで、多くの人に「**この会社は信頼できる**」、「**この会社で働きたい**」という印象を与え、より多様性に富んだ**人材確保にもつながる**可能性があります。

生存戦略になる

取引先のニーズ変化や新興国の台頭など企業の生存競争はますます激しくなっています。今後は、SDGsへの対応が**ビジネスにおける取引条件**となる可能性もあり、**持続可能な経営を行う戦略**として活用できます。

新たな事業機会の創出

取組をきっかけに、地域との連携、新しい取引先や事業パートナーの獲得、新たに事業の創出など、今までなかった**イノベーションやパートナーシップを生む**ことにつながります。

《ひろしま管財のSDGsへの取組紹介》

テーマ	主な取り組み事項	関連する代表的なSDGs
全ての多様な人たちがともに活躍できる社会の実現	①男女共同参画社会 ②両立支援事業 ③同一労働同一賃金 ④技能実習生受入、外国人労働者雇用 ⑤障害者・高齢者雇用 ⑥経済同友会ダイバーシティ委員会	
事業を通して持続可能な社会の実現	○総合ビルメンテナンス事業 ①衛生管理(清掃)業務 ②設備管理業務 ③セキュリティサービス ④施設サービス ⑤LaPica(ラピカ)事業 ○許認可・資格など ①建築物環境衛生総合管理業 ②建築物飲料水貯水槽清掃業 ③警備業認定 ④産業廃棄物収集運搬業 ⑤医療関連サービスマーク ⑥消防設備協会会員　他	
エコアクションへの取組	○エコアクション21活動を通じての環境負荷低減への取組実践	
地域貢献活動	○ビルメンテナンス協会会員 太田川クリーンキャンペーン、ごみゼロウォーク、平和公園清掃への参加 ○経済同友会ダイバーシティ委員会 ○地元学生(高校・大学生)との交流	

1. 会社概要

事業所名	ひろしま管財株式会社
代表者	代表取締役社長　川妻　利絵
所在地	広島市中区大手町5丁目7番17号
環境管理責任者	事務管理部　　課長　　河野　淳
担当者(事務局)	総務部　　平尾　弘之
連絡先	☎ 082-243-5501　FAX 082-241-4323
従業員数	308名 (内正規社員 54名)
認証登録範囲	認証登録組織：全組織（本社）
対象期間	2023年7月1日～2024年6月30日
レポート発行日	2024年 8月1日

事業概要

期	期　　間	売上高(百万円)
第62期	2021年7月～2022年6月	751
第63期	2022年7月～2023年6月	772
第64期	2023年7月～2024年6月	772

総合ビルメンテナンス事業	
衛生管理(清掃、消毒)業務 建築物環境衛生総合管理業免許 建築物飲料水貯水槽清掃業免許 産業廃棄物収集運搬業免許	豊富な経験とノウハウでお客様の建物の維持・環境衛生管理に貢献いたします。
セキュリティサービス 警備業認定	利用者の立場を考えた迅速な行動と安全の確保に努めています。
建物設備保守運転管理	高い技術力でお客様の大切な建物を保守・コントロールし適適な建物空間を維持します。
LaPica	ハウスクリーニング・整理整頓・空室対策
施設サービス	学生寮管理　学校、ご父兄、ご家族に安心をお届けします。

2.事業の特色～ひろしま管財のこだわり

○その1～衛生管理(清掃)

「清掃」を超える、「衛生管理」への取り組み

Sanitary service

ひろしま管財のサニタリーサービス

「衛生管理」への取り組む姿勢

ひろしま管財は、何のために清掃をするのか？

キレイにするため（見た目）
建物を長持ちさせるため
人が病気になりにくくする（見えない）
人の為

それが衛生管理

清掃対象は目に見えない汚れ

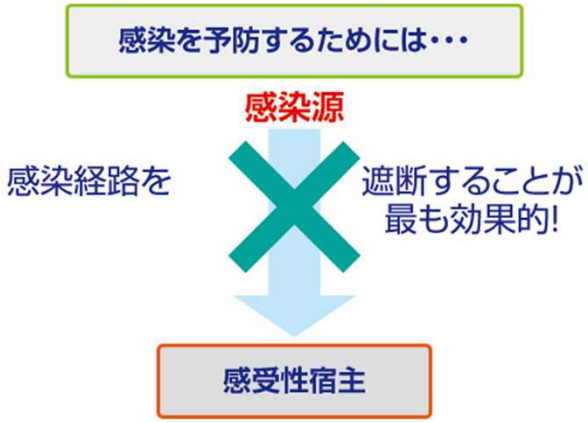
近年猛威を振るうコロナウイルスやインフルエンザ・ノロウイルスは
「目に見えない汚れ」が感染症を引き起こします。

目に見えない汚れ、細菌やウイルスを取り除き、適正な処理を行うためには従来の清掃から一歩すすんだ衛生管理に取り組まなければならないと弊社は考えています。

衛生管理の目的は感染予防

感染には経路があります。
ヒトからヒトへ、伝染する経路の
予防・消毒を私達は目指します。

感染予防には経路の遮断が大切



○その２～洗剤はＥＰＡ（米国環境保護局）認定を使用

信頼のEPA(アメリカ環境保護局)が認定した感染防止用の除菌クリーナーを使用します。
抗生物質に耐性のある細菌　及び　インフルエンザウイルス等に有効です。
中性の除菌洗剤で環境負荷及び人体への悪影響を考慮した洗剤です。

「ハイプロックスアクセル」～除菌力に優れ高い洗浄作用を誇る。人体・環境への安全性と非残留性。DIN(カナダ保健省)承認。国際宇宙ステーションの除菌洗剤に認定

○その3～LaPica(ラピカ)事業

掃除に片付け すっきり
LaPica

ハウスクリーニング・整理整頓・空き家対策など、より快適な住環境のトータルライフサポート。確かな教育を受けた女性スタッフが中心となり、お客様に安全で安心していただけるサービスを「LaPica」ブランドがご提案いたします。

・ハウスクリーニング　安心安全を生かした衛生管理を個人宅で定期的に

週1回・隔週1回・月1回等、1回2～3時間の定期清掃や単発清掃

リビング

レンジ廻り

お風呂

・プロズクリーニング　特殊技術や特殊洗剤を使用(年1～2回がオススメ)

レンジフード分解掃除

お風呂エプロン内清掃(前面パネル)

エアコンクリーニング

・整理整頓、お片付け　衣類・食器・本棚等の片付けや・先片付け(終活)のお手伝いなど、整理整頓を学んだスタッフがお手伝い

・空き家・遺品整理・不用品の廃棄処理

①長年の空き家がそのままになっている　②廃棄したいものがたくさんある

③終の棲家にするために快適にしたい　④家財道具が多くて困る

★ラピカだけの特長

Point 1

人に優しく安全な洗剤で感染予防対策

Point2

女性スタッフ中心で安心対策

Point3

マナー・整理整頓・清掃の独自教育

○その4～みどりのポスト

紙から始まるECO活動

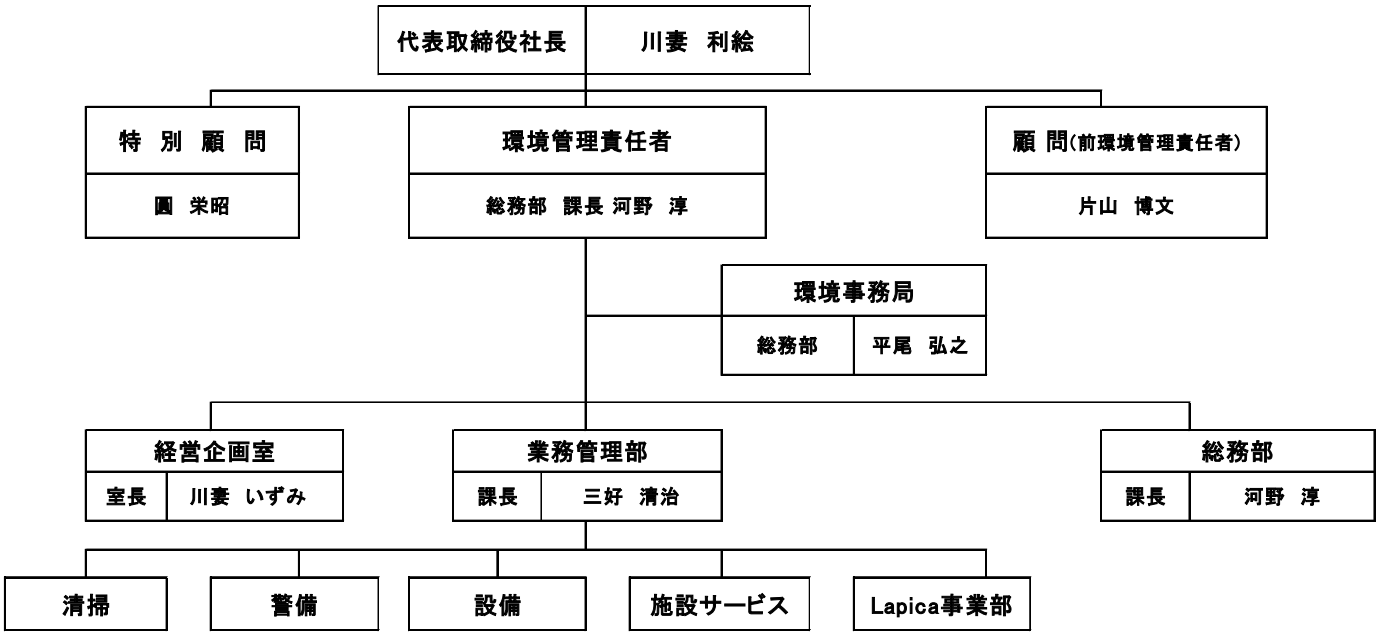
・CO2削減　・経済的

・セキュリティ　・便利

3.対象範囲、役割・責任・権限

ひろしま管財株式会社　環境経営システム組織図

2024/6/30 現在



○役割・責任・権限

役職　・　組織	役　　割
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理　・環境経営計画書を承認 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告　・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者、EA21推進会議の事務局 ・環境への負荷の自己チェックの実施 ・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成　・環境経営計画の実績集計 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと事務局への送付)
部門長 業務管理部 課長 事務管理部 課長	・自部門における環境方針の周知　・特定された項目の運用管理 ・自部門の従業員に対する環境活動の啓蒙 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全社員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環　境　経　営　方　針

当社は環境問題を重要な経営課題と捉え、環境に配慮した企業活動を実践することが重要な社会的責任であると認識しています。
ビルの総合管理を通じて社会に貢献することを目指すなかで、利用者に快適な環境を提供すると共に、ますます深刻化する地球温暖化に対し、その責任を果たすために全従業員が参画し清掃・設備管理・警備業務での効率化により省エネ・省資源と廃棄物の削減を進め、温室効果ガス排出量削減への貢献と資源循環の促進に努めてまいります。

〈　環境保全への行動指針　〉

1．具体的に次のことに取り組みます。

① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
② 廃棄物の削減とリサイクル推進
③ 水資源の節水
④ 化学物質の適正使用
⑤ 環境に配慮した資機材の利用及び販売促進
⑥ 労働生産性向上への取組推進
⑦ SDG'sへの取組推進

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、「エコアクション21」の定着・継続的改善を図ります。

2．地域社会における環境保全活動に積極的に参加し、社会貢献活動を推進します。

3．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

4．環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

2008年　12月　1日　制定
2022年　12月　16日　改定

ありがとうがいっぱいの 総合ビル管

ひろしま管財株式会社

代表取締役社長　川妻　利絵

5. 環境経営目標(3ヶ年)

環境経営目標	基準年 2016年度 排出量	2022年度 2022.7-2023.6 排出量	2023年度 2023.7-2024.6 排出量	2024年度 2024.7-2025.6 排出量
電力のCO_2排出量削減	20,121kg-CO_2	対基準年△7% 18,713kg-CO_2	対基準年△7% 18,713kg-CO_2	対基準年△5% 19,115kg-CO_2
自動車燃料のCO_2排出量削減	11,905kg-CO_2	対基準年△20% 9,524kg-CO_2	対基準年△20% 9,524kg-CO_2	対基準年△23% 9,167kg-CO_2
一般廃棄物の削減	878kg	対基準年△18% 720kg	対基準年△18% 720kg	対基準年△20% 702kg
リサイクル推進	49.8% (総排出量に占める割合)	55%	55%	70%
水道水使用量の削減	205㎥	対基準年△18% 168㎥	対基準年△18% 168㎥	対基準年△10% 185㎥
化学物質の適正使用	-	使用量の適正管理	使用量の適正管理	使用量の適正管理
みどりのポスト販売	22個	25個	27個	25個
労働生産性向上への取組推進	—	お掃除ロボットの実用化	お掃除ロボットの実用化	お掃除ロボットの実用化
SDGsへの取組推進	—	推進スジュールに沿った進捗	推進スジュールに沿った進捗	推進スジュールに沿った進捗
消毒業務への取組推進	—	—	—	—
地域貢献活動 環境美化活動参加	15P	15P	15P	15P

※水道水使用量については、2024年度に洗濯業務を開始することを考慮し目標設定している。

6. 環境経営計画(2023年度)

項目	対象	取組内容	責任部門など
二酸化炭素排出量削減	電力	・不要照明・温水便座のｽｲｯﾁOff ・温度設定、ｸｰﾙﾋﾞｽﾞ・ｳｫｰﾑﾋﾞｽﾞ運動 ・ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ使用制限 ・ﾊﾟｿｺﾝの省エネ設定、不要時の電源off ・教育、啓蒙(代表者、SDGs委員会)	総務部 SDGs委員会
	自動車	・ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞ運転の展開 ・急加速・急停止の防止、ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ ・公共交通機関、自転車の利用 ・訪問先の経路・所在を考慮した同乗	業務管理部 総務部 SDGs委員会
廃棄物	総排出量	・書類の簡素化、電子化、ペーパーレス化 ・両面・集約等の複合機の機能の活用 ・リユース活動(裏紙、封筒など)	業務管理部 総務部 SDGs委員会
	リサイクル比率	・分別ごみの徹底・・・リサイクルの意識の高揚 ・シュレッダー、みどりのポスト活用の推進 ・教育、啓蒙	業務管理部 総務部 SDGs委員会
節水	水道水	・節水意識の徹底 ・漏水点検、機器点検と修理・取替	総務部 SDGs委員会
化学物質の適正利用	化学物質管理	・使用量の適正管理	業務管理部
環境配慮した資機材の利用促進(得意分野での差別化)	みどりのポスト販売促進	・客先へのPR(環境配慮製品) ・ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞへの掲載	業務管理部 総務部
労働生産性向上の取組推進	掃除ロボットの実用化準備	・実用化の準備・検討 ・費用対効果の検討	業務管理部
SDGsへの取組推進		・代表者の「SDGs」開始宣言 ・SDGs委員会の立上げ ・新たな地域貢献活動への取組	業務管理部 総務部 SDGs委員会
地域貢献	社会貢献地域コミュニケーション	・広島市大田川クリーンキャンペーン　7月 ・広島市平和公園美化奉仕活動　8月 ・広島市ごみゼロ・ｸﾘｰﾝｳｫｰｸ　6月 ・会社周辺の定期清掃活動　年12回	業務管理部 総務部 SDGs委員会

7. 環境経営目標(2023年度)の取組み実績

項目	環境目標	2023年度目標	2023年度実績	評価
二酸化炭素排出量の削減 ※排出係数	電力のCO_2排出量削減 基準年比 ▲28%	18,713kg-CO_2	19,319kg-CO_2 達成率 96.8%	×
	自動車燃料(ガソリン・軽油)のCO_2排出量削減 基準年比 ▲22%	9,524 kg-CO_2	9,497kg-CO_2 達成率 100.3%	○
	計	28,237kg-co2	28,816kg-co2 達成率 98.0%	×
廃棄物削減	(1)総排出量削減 基準年比 ▲18%	総排出量 720kg	1,159kg 達成率 39.1%	×
	(2)リサイクル推進	総排出量の 55%	69.7% 達成率 126.7%	◎
節水	水道水使用量の削減 基準年比 ▲41%	水使用量 168㎥	154㎥ 達成率108.4%	○
化学物質の適正使用	使用量の適正管理	使用量の適正管理	洗剤管理に表により使用量を管理	○
環境配慮型資機材の利用促進	みどりのポスト販売	27個	23個 達成率 85.2%	×
労働生産性向上の取組推進	お掃除ロボットの導入検討	現場への導入	導入のための問題点検証	△
SDGsへの取組推進		推進スケジュールに沿った進捗	・代表者開始宣言 ・SDGS委員会立上 ・地元学生との交流会	△
地域貢献	地域貢献活動	15ポイント	15ポイント	

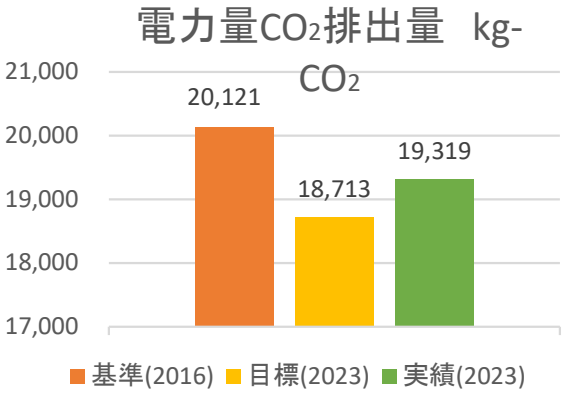
※排出係数　電気・・・中国電力(平成29年度実績) CO_2排出係数0.669 kg-CO_2/kWh

ガソリン ～ 2.32kg- CO_2 /L ,軽油～　2.58kg- CO_2 /L

8.環境経営目標の個々の実績検証と次年度への課題(1)

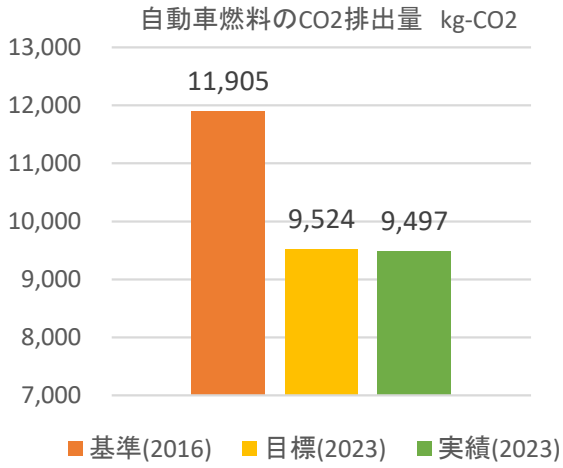
⑴二酸化炭素排出量の削減

①電力



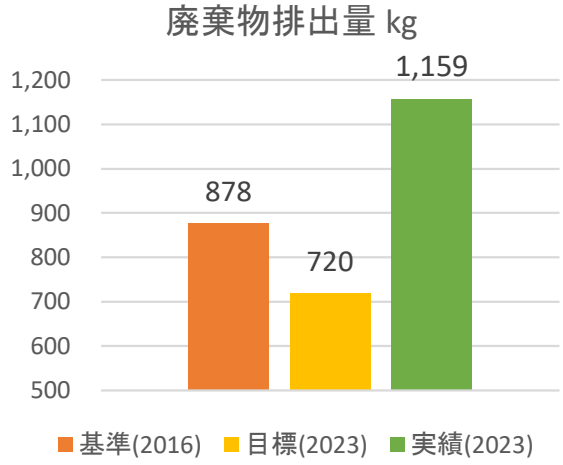
【実績検証】猛暑のためエアコンの使用が増加し、全体として電力使用量は増加した。エアコン温度の適切な設定や不在時の照明の消灯等を徹底し削減を図る。

②自動車燃料(ガソリン・軽油)



【実績検証】各自が削減を意識しながら取組み目標達成できた。今後もエコドライブ、公共交通機関の積極利用等で燃料使用量削減に取り組む。

⑵廃棄物排出量の削減

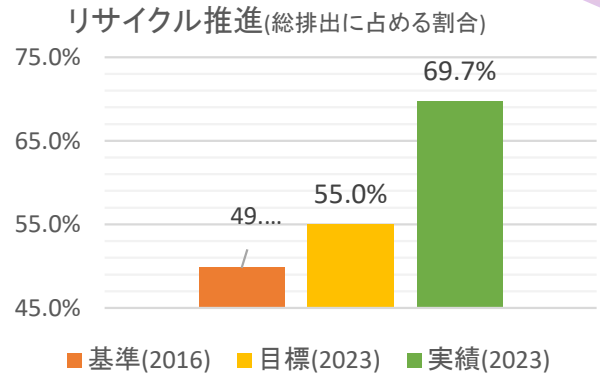


【実績検証】目標未達となった。書類の簡素化・IT機器の活用によるペーパーレス化を推進し目標達成を図る。

8.環境経営目標の個々の実績検証と次年度への課題(2)

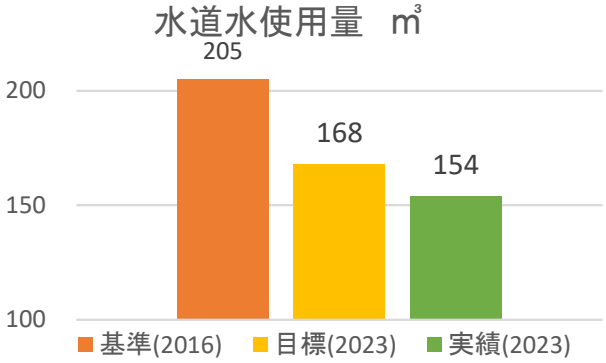
(2)廃棄物排出量の削減

②リサイクル推進



【実績検証】全員でリサイクル意識を持ち、次年度も引き続きリサイクルへの取組を推進する。

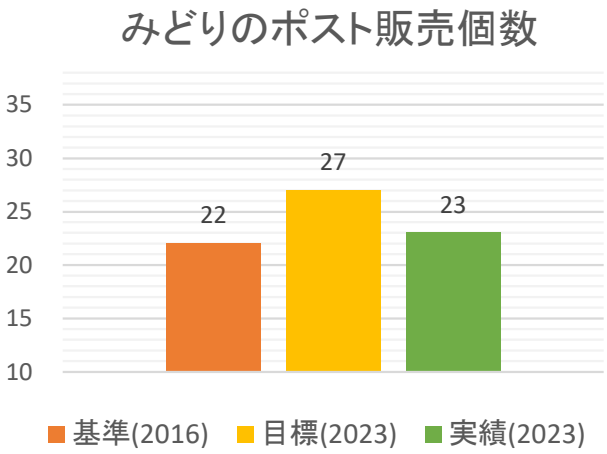
(3)水使用量の削減



【実績検証】節水意識が定着しつつあり、目標を達成できた。今後も努力を継続する。

(4)環境配慮型製品の販売

みどりのポスト販売促進



【実績検証】みどりのポストが認識されつつあるが、お客様へのPRを継続し販売増加につなげていく。

8.環境経営目標の個々の実績検証と次年度への課題(3)

⑸労働生産性向上の取組推進~お掃除ロボットの実用化

【実績検証】～導入先顧客との調整(品質の維持)や作業員の不慣れ・機械の不調などの要因で現在中断

【次年度への課題】～人手不足等に対応する施策であり、早期の実用化に向けて、問題点を整理しその改善対策を策定する。

⑹SDGsへの取組推進

【実績検証】～代表者の「ＳＤＧs開始宣言」、SDGs委員会立上げ、ＳＤＧs勉強会開催などを着実に実施

【次年度への課題】～業務多忙を理由にＳＤＧs委員会をはじめＳＤＧs活動が停滞した。ＳＤＧs活動の意義を再確認し、活動の活性化を図る。

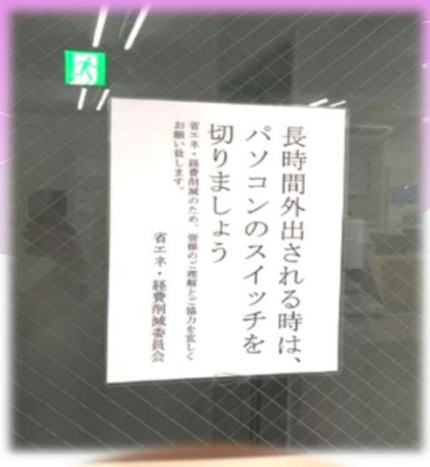
⑺地域貢献

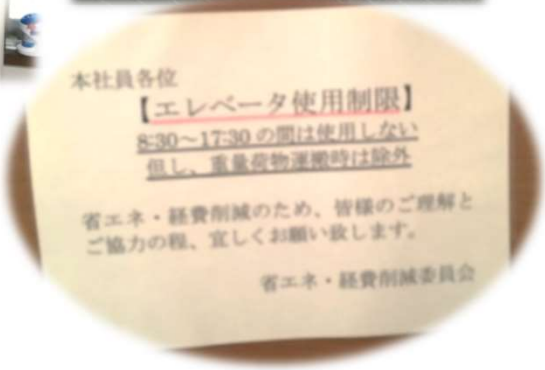
【実績検証】～ごみゼロウォーク、太田川クリーンキャンペーン、平和公園清掃等の地域の清掃活動に積極的に参加した。また毎月本社周辺の清掃活動を実施した。

【次年度への課題】～地域の清掃活動への積極的参加を継続しつつ、地元高校生、大学生への当社の取組紹介と地域貢献活動の啓蒙を推進する。

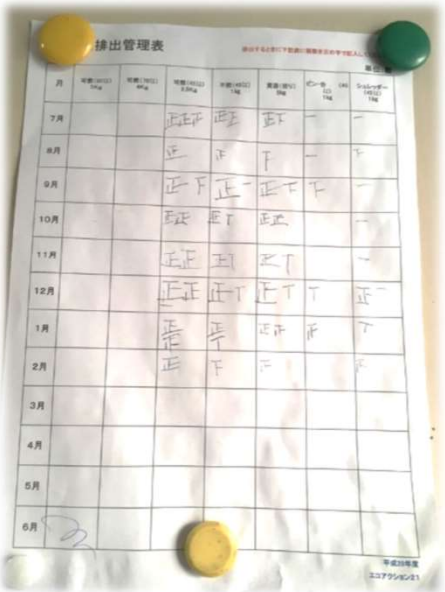
9.環境保全活動、地域貢献活動など紹介(1)

二酸化炭素排出量削減活動





一般廃棄物削減活動



9.環境保全活動、地域貢献活動など紹介(2)

地域貢献活動

平和公園清掃

会社周辺清掃

消火避難訓練

地元学生(大学生・高校生)との意見交換・勉強会

学生とコロナ禍での就職活動や企業経営について意見交換する川妻社長

高校生に衛生管理やSDGsへの取組について説明する川妻課長

10　環境関連法規等の遵守状況

環境関連法規	要求事項	遵守状況
建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）	建築物における衛生的環境の確保に関する事業の登録 衛生的な環境の確保を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図る	適
水道法	公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与	適
医療法15条の2	医療関連サービスマーク（院内清掃業務）認定	適
警備業法	警備業の要件、警備業者の責務、登録基準	適
消防法	火災予防措置 火災・地震等災害の被害の権限	適
廃棄物処理法	分別廃棄、収集許認可確認 水銀使用製品の保管場所の表示	適
家電リサイクル法	特定家庭用機器の長時間使用と適切な廃棄（エアコン、ブラウン管テレビ、冷蔵庫、洗濯機、電気冷蔵庫）	適
グリーン購入法	環境負荷の少ない社会の構築 環境物品等の情報提供 国民の健康で文化的な生活の確保	適
道路交通法	事故防止 ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞ推進	適
フロン排出抑制法	フロン類の登録業者による適切な点検回収と簡易点検の実施・記録簿の作成	適
化管法 (PRTR制度)	事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境保全上の支障を未然に防止する。	適

※赤字は法改正等で特に留意しなければならない事項

11. 代表者による全体評価と見直・指示

環境経営目標への取組状況の評価

①「二酸化炭素排出量の削減」・「廃棄物削減」・「水資源削減」については朝礼・業務研修などで具体的な指示し徹底することで削減意識の高揚を図った。継続実施する。
②「環境配慮製品の販売」についても継続実施する。同時に環境配慮型消毒剤をアピールする
③社会貢献活動・地域貢献清掃は着実に実施した。
④社員の環境活動に対する一層の意識向上や地元高校生、大学生に対する啓蒙活動の推進が今後の課題。
⑤掃除ロボットについては導入計画が遅延しているが、一歩ずつ問題点を解決し実用化を進める。
⑥SDGsへの取組を継続する。

環境経営システム各要素の評価

①全事業所対象を継続する。
②環境関連法規遵守を徹底する。
③「教育体制(啓蒙)」の継続～
新型コロナウィルスから従業員と顧客を守るための教育を継続実施する。
④現場を含めた内部監査の継続実施。

見直し(変更の必要性と指示)

①「環境経営方針」(2017年版ガイドライン対応)に引き続き「SDGsの取組推進」を掲げる。
②「SDGs活動」が停滞したことから勉強会の開催などにより活性化を図る。
③実施体制は継続する。